

緑

の

募

金

だより 2023

春

皆様から寄せられた大切な「緑の募金」を
国内外での森づくり、人づくりに活用しています。



人々と森林をつなぎ、
森林がもたらす豊かな暮らしを未来につないでいくために、
緑の募金は、地域の人々の身近な緑化活動や
次世代が参加する森林体験活動などの支援に、
大切に活用されています。



子どもたちも参加しての森林整備（滋賀県）



緑の募金

「緑の募金」の活動は、緑豊かで活力のある、
誰もが安心して暮らせる未来をつくるために **SDGs** に貢献します！





green designの緑化活動は、この項目を中心に実践されています。

企業とともに、森づくり・人づくり！

緑の募金では、活動に賛同いただいた企業と一緒に、企業の森づくりや地域に根ざした人づくり活動を行い、SDGs目標への貢献を進めています。

こくみん共済 coopの森の緑化活動は、この項目を中心に実践されています。



ファミリーマート 子どもたちの未来の森づくり事業

地域を大切にしたい森づくり・人づくりを全国で実施するために

ファミリーマートは、「ファミリーマート夢の掛け橋募金」を通じ、「緑の募金」とともに『ファミリーマート 子どもたちの未来の森づくり事業』を行っています。この事業は、森林を活用し、未来の子供たちに豊かな国土を引き継ぐことを目的に、2018年から毎年全国各地で50事業程度を実施しています。そのひとつに、特定非営利活動法人 green design が青森県むつ市の子どもたちと植樹や森林教室などを行い、郷土を守り、未来へつなぐための森づくり・人づくり事業があります。



こくみん共済 coop〈全労済〉の森 事業

みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくりをめざして

「こくみん共済 coop〈全労済〉」は、自然災害被災地で緑化等を通じた様々な支援を行う「緑の募金」とともに、過去の災害を風化させない取組みとして、東日本大震災をはじめ熊本地震や令和2年7月豪雨災害などへ継続的な支援活動を実施しています。特に、東日本大震災の被災地では、協定締結※を行い、企業自らが主体的に海岸林の再生を行う『企業の森』を実践しています。

※ 東日本大震災で被災した海岸林での協定締結とは、国や県が募集する民間参画公募地で、決められた期間での植樹、下草刈りなどの再生活動を企業や団体が主体となって行うこと。「緑の募金」では、協働する地元団体等との橋渡しを行い、植樹や保育活動等をサポートしています。



地域全体で行う持続可能な緑化活動にするために

設立をしたばかりの green design では、団体としての活動ビジョンをしっかりと掲げると同時に、地域の他団体との連携を強め、それぞれの団体が持つノウハウや技術を活用することに重点をおいています。

例えば、子どもたちと行う森林教室では、森林組合の協力を得て植樹や下刈りのノウハウを子どもたちに伝え、一緒に実践してもらうことや、スポーツクラブの協力の下、いくつもの学校の生徒が参加できるようにするなど、地域全体での広がりや絆づくりを重点に行い、地域全体で行う持続可能な緑化活動をめざしています。



市民が集まる憩いの場づくりをめざして

再造林が進まなく雑木で荒れた30haの土地を「200年の森構想・市民の森」として復活させようと様々な団体が活動しているフィールドが green design の活動地になっています。

green design は、毎年0.2haの緑化活動を行い5年で1haを目標にするとともに、この30haの市民の森を囲む山桜の林道づくりの計画をし、市民の誰でもが楽しめる憩いの場づくりをめざしています。



活動を未来へつなぐために持続可能な団体として

「具体的な活動方法がわからない団体のスタート時に、緑の募金を持っているつながりと企業からの支援を受けることが出来て、これほど心強いことはなかった」と話す green design の代表。団体のコンセプトである「海へと続くみどりがまちを育てる」を実現するためにも、今後は団体自らの力で活動を維持、継続できるようやっていくことが大きな課題だと話しています。

企業コメント 「地域の皆さま一人ひとりに『家族』のように寄り添うことで誰もが安心して過ごせる社会になるように貢献していきたい」ファミリーマートは、全国の店舗やストアスタッフとともに、地域社会と連携し、こどもたちへの支援に取り組んでいます。

この活動は、株式会社ファミリーマートが緑の募金と行う「ファミリーマート 子どもたちの未来の森づくり事業」で進められています。

被災地の緑の回復と地域の安全、安心をめざした『企業の森』活動

東日本大震災で被災した海岸防災林の再生に向け、2017年10月に協定締結した宮城県岩沼市の「岩沼潮除須賀松の森」地区において、2年間で計1,600本 (0.32ha) のクロマツ苗の植樹をこくみん共済 coop の組合員と地元団体とで行い、現在は、組合員を中心に継続的に下刈りなどの育樹作業を行い、順調に海岸防災林へ育てています。



緑化活動を通じたふれあいの場づくり・絆づくりをめざして

宮城県登米市では、緑化活動を通じたふれあいの場づくり・絆づくりを行っています。この活動は、東日本大震災からの復興を誓い、沿岸の被災地住民と山村住民の交流を図りながら、山村において緑の少年団と植樹活動や木工を行い、山の恵みの収穫を実施するものです。

この活動に参加した沿岸の住民からは、「自然の中でおもいっきり活動ができて、とても心が癒やされた。」「生きていることの素晴らしさを実感した。」などの、復興に向けての前向きな声が上がっています。

緑の成長とともに、周辺地域の人々の心を和ませる活動として

熊本地震や豪雨の被災地復旧支援活動として、熊本県内で被災した周辺の学校や幼稚園・保育園への支援活動を行っています。

子どもたちの緑を大切にする心を育てることを目的に、校庭や園庭などへの植樹や地元の木材を使用したプランターなどの寄贈を行い、緑化を通じた地域づくりを行っています。



企業コメント 豊かな自然環境を守り、次世代に引き継いでいくためにも、子どもたちへの取組みを大切にしっかりと実施して、子どもたちの成長とともに豊かな自然環境が育まれる環境保全に貢献します。

この活動は、こくみん共済 coop が緑の募金と行う「東日本大震災復興支援事業」「自然災害被災地復旧支援事業」で進められています。

「緑の募金」の活動は、SDGsへの貢献

にもつながります！  SDGsとは、2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です。

子どもたちを育む自然体験活動を応援！



体験を通じて「私たちの生活において、森林がいかに重要な役割を担っているのか」を知り学んでもらうことを目的に、森や里山での「体験学習」を行っています。



学校周辺でのクヌギの植栽



学校林での森林学習会



小学生による森林探索



里山整備のための山桜の植樹

2021年度の中央事業で支援した国内での活動は、**157カ所**です！



海岸林の整備活動



海岸林での下草刈り



崩落斜面への植樹

大きな被害を受けた被災地域で、防災林等の森林整備や居住地域周辺、学校周辺の緑化を行っています。

自然災害被災地の復旧や緑化を応援！



森づくりのリーダーを育てる活動を応援！



持続可能な森づくりをめざし、だれでも参加できる安全で楽しい森づくりを実施するため、人材育成を行っています。



チェーンソーの安全講習会



小学生への間伐教室



小学生への森林環境学習



植栽地での下草刈り



森林再生のための水流整備



つる切りなどの育成整備



植樹場所の清掃作業



豪雪による倒木の伐採、撤去

森林の活力を支えるため、植樹や下刈り、間伐などを地域住民とボランティアの人々が一緒になって行っています。

森と人を元気にする活動を応援！



海外での森林保全活動を応援!



海外の森林荒廃が進む地域での環境改善のための植樹活動や地域住民への普及啓発を行うとともに、生活向上のための苗木づくりや苗木の配布などを支援しています。

インドネシア共和国

開発で焼失した森を再生させるための植樹活動と同時に、植樹を行っている在来種の「葉」をモチーフにした教材も作成し小中学生に在来種の種類を覚える活動を支援しています。



パレスチナ



イスラエルとの境界線沿いの村にある耕作放棄地や公共地は、放っておくとゴミの不法投棄や違法接収の対象になるため、村民が中心となって行うゴミ拾いや植樹活動を支援しています。

2021年度に海外で支援した活動は24カ所です!

1 貧困をなくそう

緑の募金は、森林荒廃が進む海外での森林環境改善のための植樹活動や地域住民への環境教育を行うと共に、生活向上のための苗木づくりなどを支援

3 質の高い教育をみんなに

緑の募金は、地域のシンボルである樹木や人々が集う森林の保全活動を支援

4 質の高い職業をみんなに

緑の募金は、子どもたちを育む自然体験活動を支援

17 パートナリシップで目標を達成しよう

緑の募金は、学校募金・家庭募金・街頭募金・職場募金・企業募金などによって実施

「緑の募金」の活動と関係が深いSDGs目標!

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

12 つくる責任 つかう責任

緑の募金は、木材活用や森林保全活動での間伐材や伐採竹の再利用を支援

15 陸の豊かさも守ろう

緑の募金は、生物多様性の保全につながる森づくりを支援

8 働きがいも経済成長も

緑の募金は、持続可能な森づくりに必要な「森づくりリーダー」の人材育成活動を支援

11 住み続けられるまちづくりを

緑の募金は、自然災害被災地域での森林整備や住居地域周辺、学校周辺の緑化活動を支援

13 気候変動に具体的な対策を

緑の募金は、森林の活力を支えるための植樹活動や下刈り、間伐などの保全活動を支援

6 安全な水とトイレを世界中に

14 海の豊かを守ろう

緑の募金は、水源地での植樹、保全活動を支援

「緑の募金」の活動は、カーボンニュートラルに貢献します!

▶ カーボンニュートラルの考え方 ◀

温室効果ガスの排出量を削減努力により圧縮し、それでも排出せざるを得ない温室効果ガスと同量のCO2を、植林や森林の整備などにより吸収し、**プラスマイナス・ゼロにすること**



【データ出典】 カーボンニュートラルの考え方 ▶ 『『カーボンニュートラル』って何ですか? (前編) ~いつ、誰が実現するの?』資源エネルギー庁 2021 : https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/johoteikyoo/carbon_neutral_01.htm
【図出典】 森林と気候変動 基礎資料 公益社団法人 国土緑化推進機構

「緑の募金」では、さまざまな参加方法を実施しています！

「緑の募金」は家庭募金、街頭募金、職場募金、企業募金、学校募金などを行っています。

※募金活動は、新型コロナウイルス感染症感染予防対策の徹底の下で実施しています。

より一人でも多くの人に参加してもらえるように、日々の生活の中で参加、協力ができるさまざまな方法を実施しています。

寄付金付き商品で！



寄付金付き商品を購入すると、その販売価格の一部が募金にあてられます。食品、衣料品、家電製品、出版物、日用品など協賛商品は多岐にわたります。

写真提供：江崎グリコ株式会社

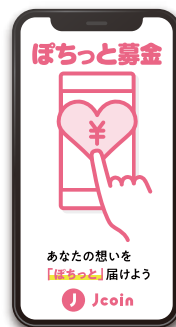
自動販売機で！



緑の募金のマーク付き自動販売機は、販売額に応じて一定割合が募金にあてられます。

写真提供：ダイドードリンコ株式会社

スマホの決済アプリで！



みずほ銀行や全国の地方銀行が提携するJ-CoinPayで、

いつでも、

どこでも、

だれでも、

簡単に！

スマホ決済アプリで募金が行えます。

コンビニやスーパーのレジ横で！



レジの横に緑の募金へ協力する募金箱が置かれています。

写真提供：株式会社ファミリーマート
株式会社ローソン

カード類で！



クレジットカードの利用ポイント、クオ・カードの購入額の一部が募金となります。

写真提供：ENEOS 株式会社
株式会社クオカード

あなたの家に眠っている「お宝」で！



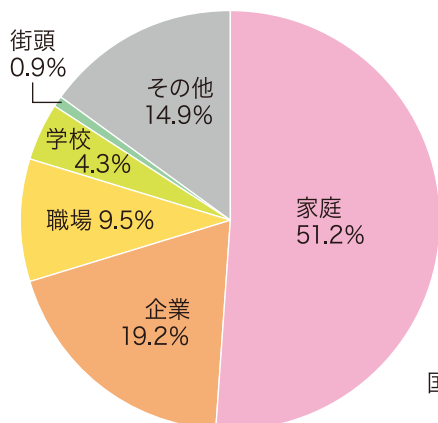
家庭に眠っている物品(お宝)を受け入れ、査定額が募金となります。

提供：お宝エイド®

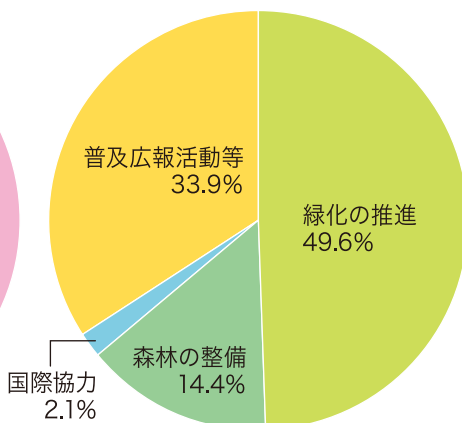
緑の募金 2022年

2022年に皆様から寄せられた緑の募金は、約20億円になりました。ご協力ありがとうございました。

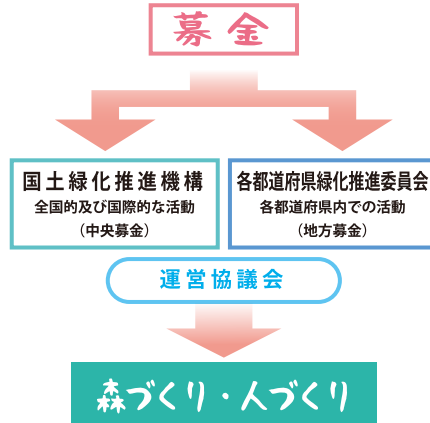
ご協力いただいた分野



緑の募金の使途



募金のながれ



「緑の募金」にご協力をお願いします

春の新緑シーズン(1~5月)と秋の紅葉シーズン(9~10月)を中心に行われています。



緑の募金

公益社団法人
国土緑化推進機構

National Land Afforestation Promotion Organization

0120-110-381

ホームページアドレス <https://www.green.or.jp/>

電子メールアドレス bokin@green.or.jp

詳しくは緑の募金ホームページをご覧ください。



〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-4 砂防会館別館 5階